

岩田 真一郎

研究課題

経済ゼミナールⅠ「都市経済学（実証分析入門）」

経済ゼミナールⅡ「都市経済学（都市に関わる個人またはグループ研究）」

経済ゼミナールⅢ「都市経済学（都市に関わる卒業論文の作成）」

研究内容

都市は人口や面積に応じて大都市、中核市、中都市、小都市など様々な大きさに分類されます。大きさの異なる都市は、経済活動の特長も異なり、抱える問題も異なってきます。都市経済学は、それぞれの都市における経済活動の特徴を明らかにし、その活動によって生じた問題の対処方法を考えます。

このゼミナールは、各自が持った問題意識を基に都市の特長や都市が直面する課題についての仮説を立て、データを用いてその仮説を計量経済学的に検証し、独自性のある卒業論文を完成させることを目指します。

ゼミナールⅠでは、データを分析できる力を養うために実証分析用のソフト R を利用してデータの特徴を可視したり、回帰分析の使い方を学んだりします。同時に、データを地図上に示す方法も実践します。分析では各自の研究テーマに関連する変数を用います。

ゼミナールⅡでは、仮説を立てる力や論文を作成する力を養うために、研究テーマが近いゼミナール生同士で3名から5名程度のグループを編成し、ゼミナールⅠの研究テーマを引き続き取り組むか、各グループで新たに研究テーマを設定して、研究論文を作成します。

ゼミナールⅢでは、ゼミナールⅠとⅡで習得した知識や技術を基に各自の卒業論文を完成させます。

指導方針

ゼミナールⅠでは、実証分析の理論を学ぶわけではなく、実証分析を実践します。私が分析手法を解説した後に、各自が実証分析を実践することになります。実践にはパソコン（タブレットも可能）が必要になります。ノート型パソコンを所有しているゼミナール生は是非ご自身のパソコンを使用してください。所有していないゼミナール生には貸し出します。最初のころは R の操作に戸惑うことが多いですが、忍耐力があれば乗り越えられます。なお、統計データを地図上に示す方法についてチュートリアル（R による地理空間データの可視化）を作成していますので、是非参考にしてください。

<https://shinichiro-iwata.github.io/geospatial-data-visualization/>



ゼミナールⅡでは、グループ内のゼミナール生と協力して、各自の研究テーマまたはグループ内の研究テーマについて論文作成に励みます。具体的には、仮説設定、データ取得、分析、分析結果の考察についてグループ内のゼミナール生と相談しながら、取り組みます。グループ間の発表機会を設け、グループ間で質疑応答してもらいます。この少ない人数の中での発表を通じて一人ひとりの発言機会を確保したいと思っています。ゼミナール全体の発表機会も2回から3回設けます。その際に助言するのが私の役割になります。

